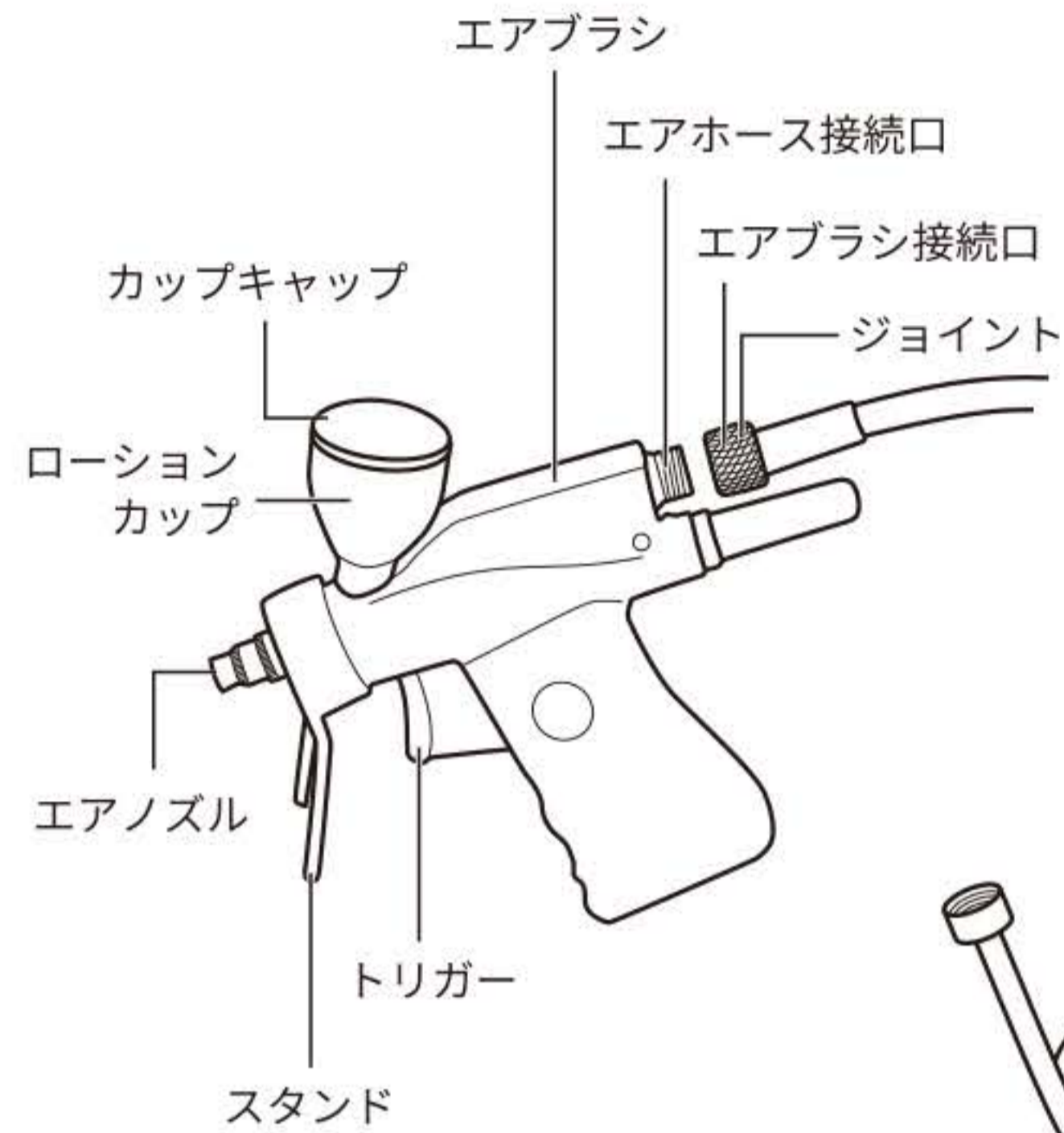


復元炭酸ペット

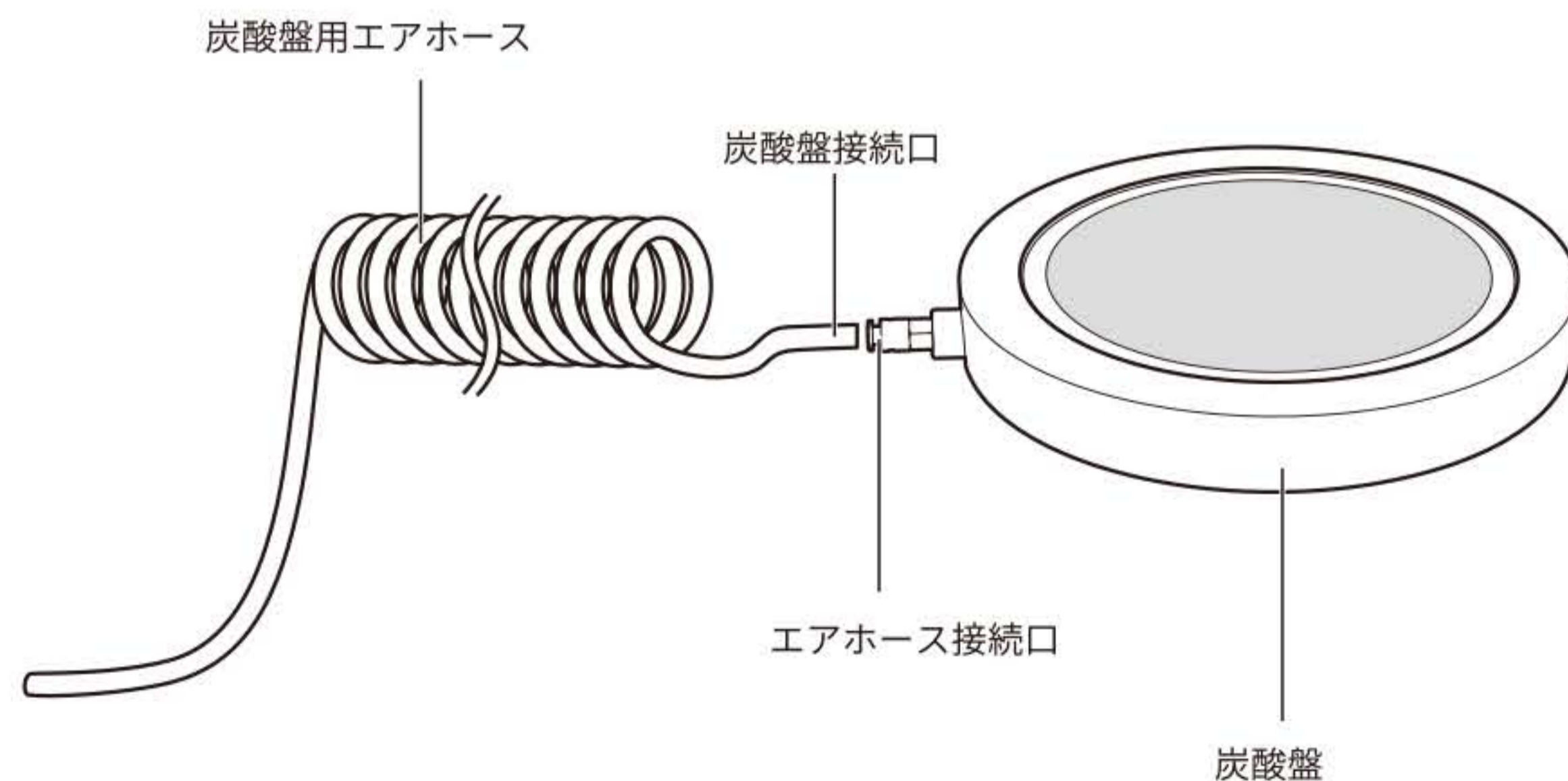
■エアブラシ



■本体



■炭酸盤



仕様

●本体仕様

品名・型名	本体 ※保証対象品
重量	約 362g(本体ケース・レギュレーター含む)
サイズ	幅:約 75φ × 高さ:約208mm
材質	ABS・エラストマー
レギュレーター	調整圧力:0.15MPa (±0.03) 安全装置:0.2~0.35 で安全弁作動 使用環境温度:0~40°C 材質:真鍮、他

●エアブラシ仕様

品名・型名	エアブラシ ※保証対象品		
重量	約 88g	エアノズル径	0.3mm
サイズ	長さ:約 120 × 高さ:約 110 × 幅:約 25mm		
ローションカップ 内容量	5ml		

●エアブラシ用エアホース仕様

品名・型名	エアブラシ用エアホース (ジョイント付き)
サイズ	幅:約 4φ × 長さ:約3m

●炭酸盤仕様

品名・型名	炭酸盤
重量	約 1230g
サイズ	長さ:約 233 × 高さ:約 27 × 幅:約 205mm
材質	プレート:アルミナ(銀含有)、ケース(上):マイナス電子、ケース(下):遠赤外線を含有 ※ケースの模様は天然鉱石によるもので、個体差があります。

●炭酸盤用エアホース仕様

品名・型名	炭酸盤エアホース
サイズ	幅:約 4φ × 長さ:約3m

●炭酸ガスカートリッジ仕様

品名・型名	炭酸ガスカートリッジ		
充填ガス	食品添加物 二酸化炭素(炭酸ガス)	封板形状	二重安全封板
使用温度環境	6~39°C	容積	98mL
重量	約 300g	ガス量	約 74g
サイズ	幅:約 40φ × 高さ:約133mm		

※ 本体・エアブラシ以外は保証対象外となります。

※製品の性能の向上のため仕様の一部を予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思われた時は、まず以下の内容をご確認いただき、処理を行なってください。

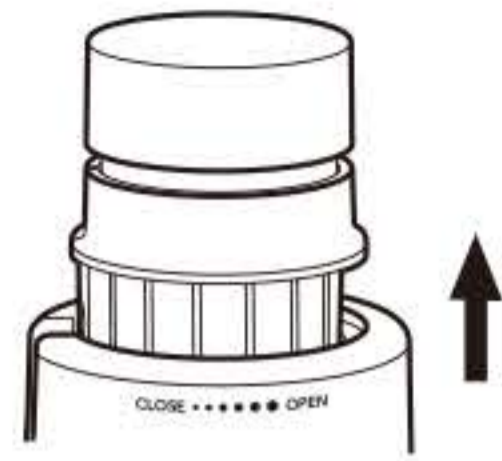
症状・点検項目	考えられる原因	処理方法
炭酸ガスが漏れる音がする	エアホースとレギュレーター、エアブラシまたは炭酸盤がきちんと接続されていない。	正しくセットしてください。 エアブラシをご使用時の場合 参照→ 炭酸盤ご使用の場合 参照→
	炭酸ガスのカートリッジが最後までねじ込まれていない。	「炭酸ガスカートリッジのセット」を参照し、正しくセットしてください。 参照→
	レギュレーター内のパッキンの破損が考えられます。	修理可能です。お客様相談窓口へお問い合わせください。 ※レギュレーターパッキンは消耗品のため保証対象外となります。
	エアホースに亀裂や穴などの破損が考えられます。	エアホースは消耗品のため、修理対象外となります。 購入は、お客様相談窓口へお問い合わせください。
使用していないのに炭酸ガスがなくなった	安全上、長期間使用しないと微量ずつ炭酸ガスが抜ける設計となっているため。	「炭酸ガスカートリッジの交換」を参照し、カートリッジを交換してください。 参照→
エアブラシのトリガーを引いても炭酸ガスが出ない/ 炭酸盤から炭酸が出ない	炭酸ガスがなくなっている。	
	レギュレーターの開閉ハンドルがOPENになっていない。	「レギュレーターのご使用方法」を参照し、開閉ハンドルをOPENにしてください。 参照→
ミストが噴霧されない (エアブラシご使用の場合)	化粧水などが、ローションカップに入っていない	「化粧水などの注入」を参照し、ローションカップに化粧水などを注いでください。 参照→

●処置後、なお異常がある場合や上記以外に不具合を感じたときは直ちに使用を中止し、お客様相談窓口までお問い合わせください。

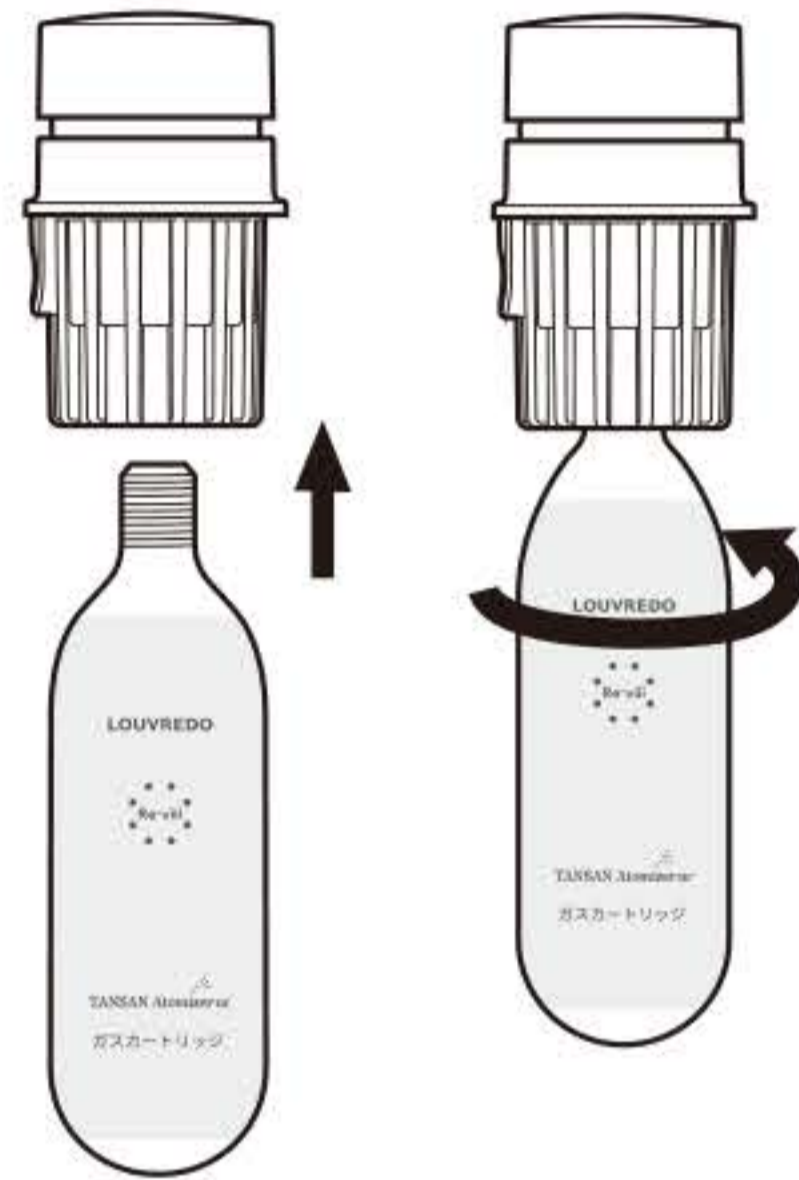
ご使用前の準備 〈炭酸ガスカートリッジの準備〉

注意 ●炭酸ガスカートリッジを落下させないでください。

- 1 本体ケースを支えながら、レギュレーターカバーを上を持ち上げて、レギュレーターカバーを取り外してください。



- 2 炭酸ガスカートリッジのキャップを外してください。レギュレーターカバーをしっかりと持ち、レギュレーターの取り付け口に炭酸ガスカートリッジの吐出口をあて、反時計回りにねじ込んでください。

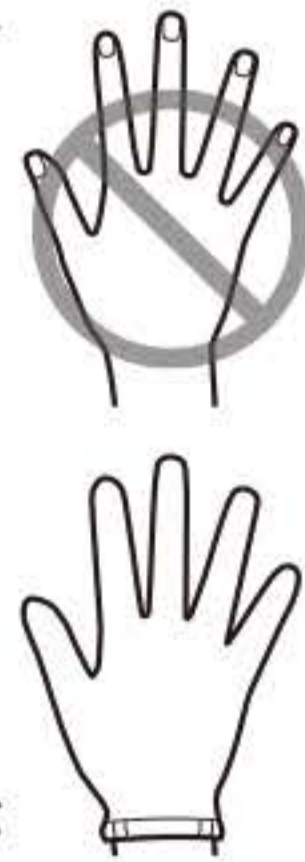


- 3 炭酸ガスカートリッジを軽くねじ込んでいき、突き当たったような抵抗感が出た後、握り直し、力強く一気に最後までねじ込んでください。

- レギュレーターのピンが炭酸ガスカートリッジに刺さる際、「シュー」という音が出ますが、完全にねじ込みが終わると、音はしなくなります。

注意

- 装着時、炭酸ガスカートリッジは非常に冷たくなるおそれがありますので、素手で触らず、軍手やゴム手袋を装着してください。
- 濡れた手での炭酸ガスカートリッジの装着は絶対におやめください。
- 装着時、炭酸ガスカートリッジは、必ず立てた状態でレギュレーターに接続してください。
- ねじ込んでいる途中で絶対にゆるめないでください。
- 一度取り付けた炭酸ガスカートリッジは、炭酸ガスを使い切るまでは絶対に外さないでください。
- 炭酸ガスカートリッジ装着後は、必ず立てた状態で使用・保管してください。横にして使用すると液化炭酸ガスがレギュレーター内に流れ込み、故障やガス漏れ、凍傷の危険があります。



- 4 レギュレーターカバーを本体ケースにセットします。

- 本体ケースのくぼみにレギュレーターのエアホース接続口が収まるようにセットしてください。



ご使用前の準備 〈エアブラシ〉

炭酸盤をご使用される場合・・・14 ページ

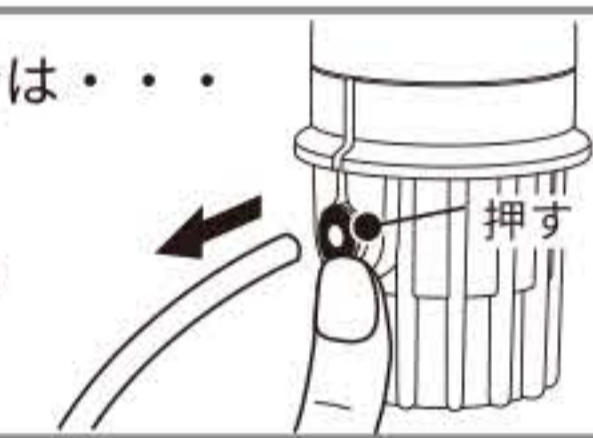
- 1 炭酸ガスボンベ装着済みの本体を準備します。開閉ハンドルが【CLOSE】方向(時計回り)へ止まるまで回っていることを確認します。回っていない場合は止まるまで回してください。



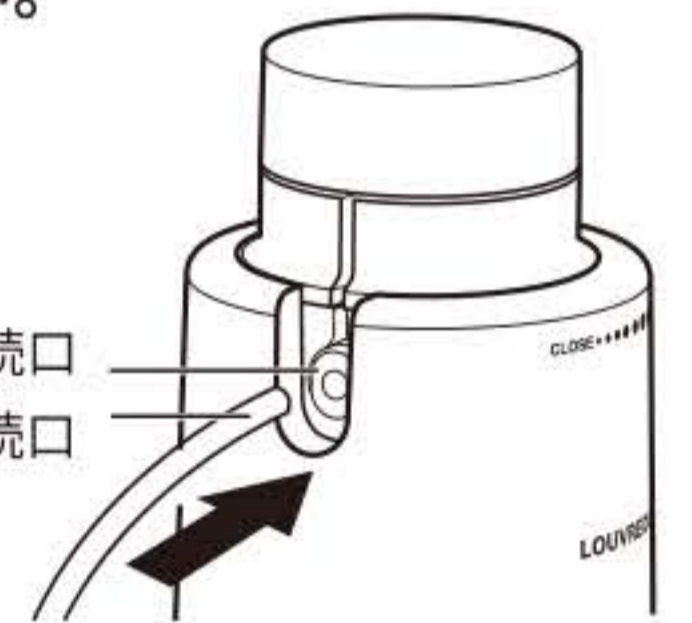
- 2 エアブラシ専用エアホースのレギュレーター接続口(ジョイントがついていない方)を本体レギュレーターのエアホース接続部に差し込んでください。

- 奥までしっかり差し込んでください。

エアホースを外したい場合は・・・
エアホース接続口の黒い樹脂部分を押しながら引き抜いてください。



エアホース接続口
レギュレーター接続口



- 3 エアホースのエアブラシ接続口をエアブラシのエアホース接続口にねじ込んでください。

- ジョイントが回らなくなるまでしっかりねじ込んでください。

エアホース接続口



エアブラシ
接続口

- 4 本体レギュレーターの開閉ハンドルを【OPEN】方向へ回し、炭酸ガスを供給します。

- レギュレーターのご使用方法は、下記の取扱説明書ページを参照ください。

📖 本書 11 ページ：レギュレーターのご使用方法



ご使用方法〈本体〉

レギュレーターのご使用方法

- レギュレーターの開閉ハンドルを回すことで、エアブラシ・炭酸盤への炭酸ガスの供給を操作することができます。

使用するとき(炭酸ガスを供給する場合)

開閉ハンドルを【OPEN】方向(反時計回り)に止まるまで回します。

- 使いはじめはハンドルが止まるまで回してください。その後【CLOSE】方向(時計回り)に少しずつ回すことで、ガスの圧力を調節できます。



使用后(炭酸ガスを供給しない場合)

開閉ハンドルを【CLOSE】方向(時計回り)に止まるまで回します。



ご使用方法〈エアブラシ〉

エアブラシの噴き出し確認

- レギュレーターの開閉ハンドルを【OPEN】方向(反時計回り)に止まるまで回し、炭酸ガスの供給を開始します。
- エアブラシのエアノズルを手の甲に向け、トリガーに指をかけて手前に引いて噴射させます。ミストが噴射されるのをご確認ください。



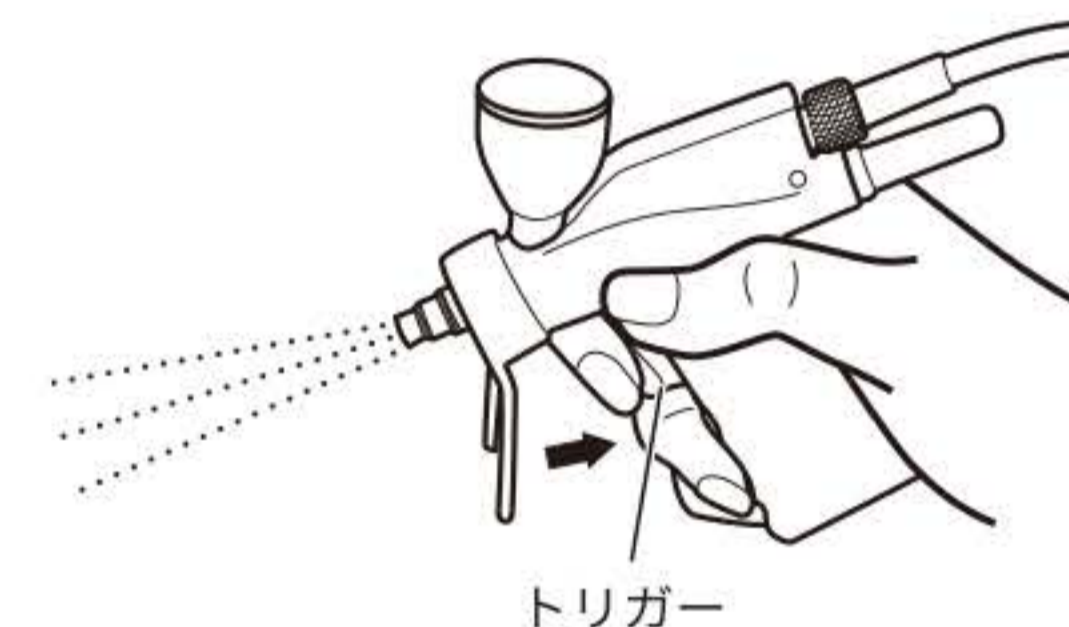
噴霧量の調節のしかた

トリガーの引き加減で、噴霧量を調節します。

トリガーを浅く引く・・・噴霧量が少ない

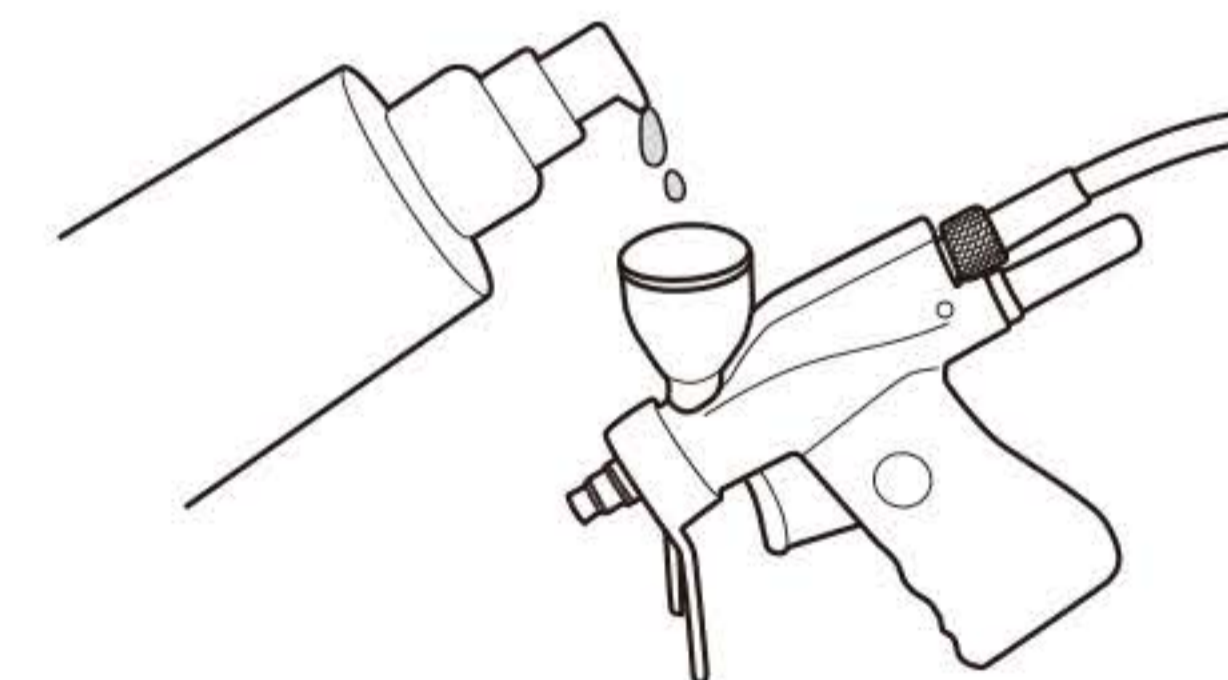


トリガーを深く引く・・・噴霧量が多い



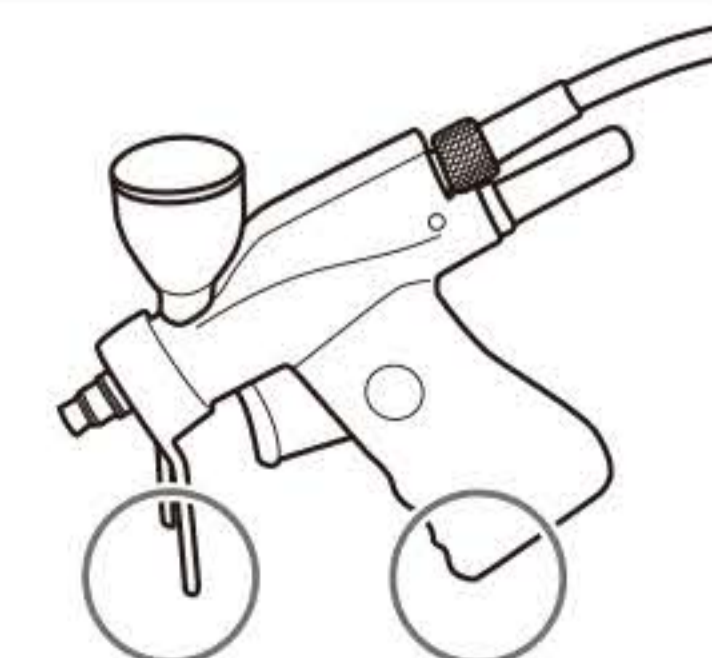
化粧水などの注入

- ローションカップのキャップを回し開け取り外します。
- 化粧水を注ぎ込んで、カップのキャップをしてください。
 - 化粧水をボトルの肩口まで入れると、約5mLになります。



エアブラシの置き方

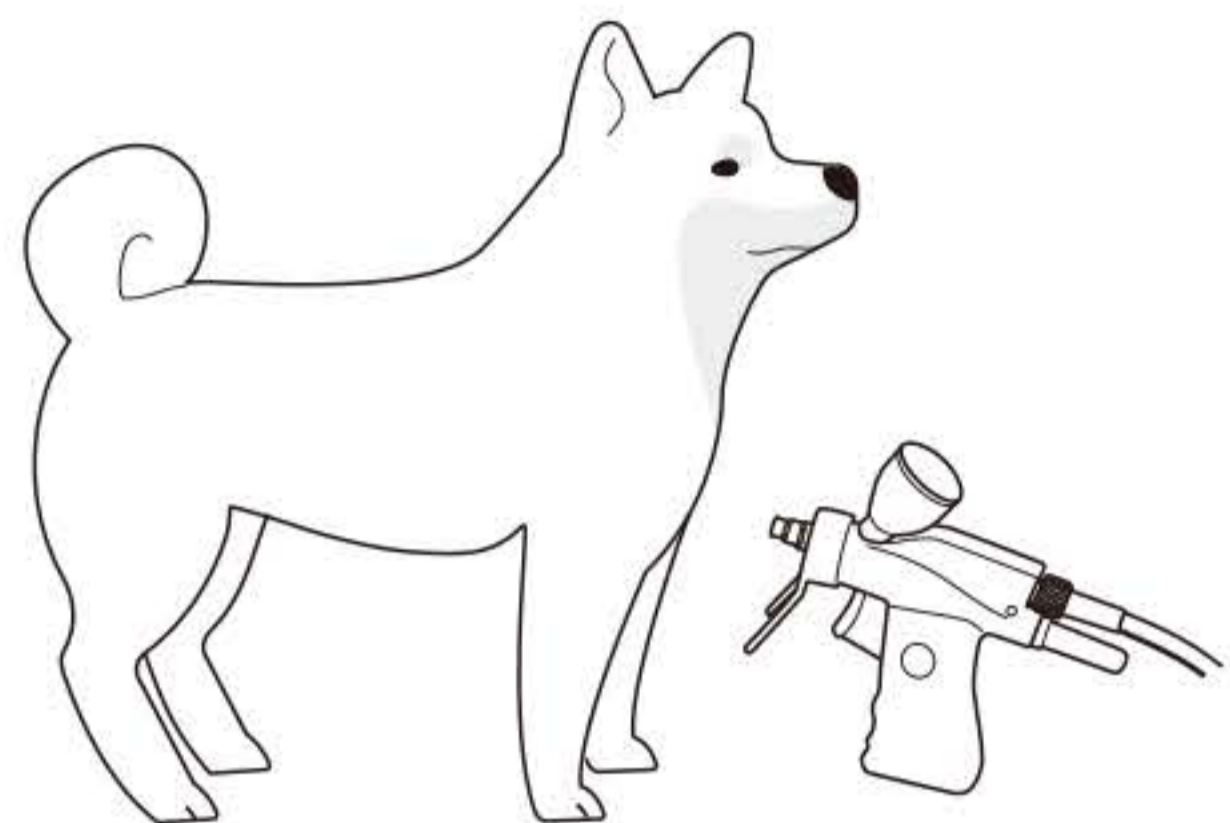
エアノズルの下の2本足のスタンドと持ち手部分で立てて置くことができます。



ご使用方法 〈エアブラシ〉

噴霧

- 1 手の甲に向けて、ミストが正しく噴霧されるかご確認ください。
- 2 噴霧したい部位から約 20cm 離して、10 秒程度まんべんなく噴霧し、優しくなじませるようにご使用ください。
噴霧後は、普段のお手入れでお肌を整えてください。



⚠ 注意

- 目に直接噴霧したり、使用直後に目をこすらないでください。
*失明のおそれがあります。目の周りに噴霧する場合は目を閉じてご使用ください。万が一ミストが目に入った時は、直ちに洗い流してください。
なお、異常が残る場合は専門医にご相談ください。
- 各接続部は使用中及び保管中、炭酸ガスカートリッジ内の炭酸ガスが無くなるまでは取り外さないでください。
*炭酸ガスが残っている状態で取外しますと、勢いよく炭酸ガスが噴き出し、凍傷やケガ、破損の原因となります。

- 次のようなところでは使用しないでください。

多湿・直射日光・ホコリ・塩分などを含んだ空気の影響を受けるところ /
振動・衝撃のあるところ / 不安定なところ / 子どもの手の届くところ / 閉め切った密室

- 浴室内でご使用の場合は、下記をお守りください。

換気をする / 浴室内ではガスカートリッジを交換しない / 炭酸ガスカートリッジの残量が少なく
使用時間が短い場合の交換以外は、カートリッジを交換しての連続使用をしない /
水没させない / 浴室内に放置しない

使い終わったら

- 1 本体レギュレーターの開閉ハンドルを【CLOSE】方向(時計回り)へ止まるまで回し、炭酸ガスの供給を停止します。



ご使用前の準備 〈炭酸盤〉

エアブラシをご使用される場合・・・10 ページ

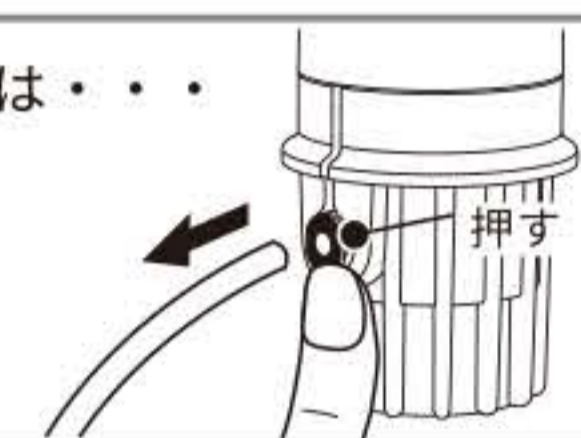
- 1 炭酸ガスボンベ装着済みの本体を準備します。
開閉ハンドルが【CLOSE】方向(時計回り)へ止まるまで回っていることを確認します。
回っていない場合は止まるまで回してください。



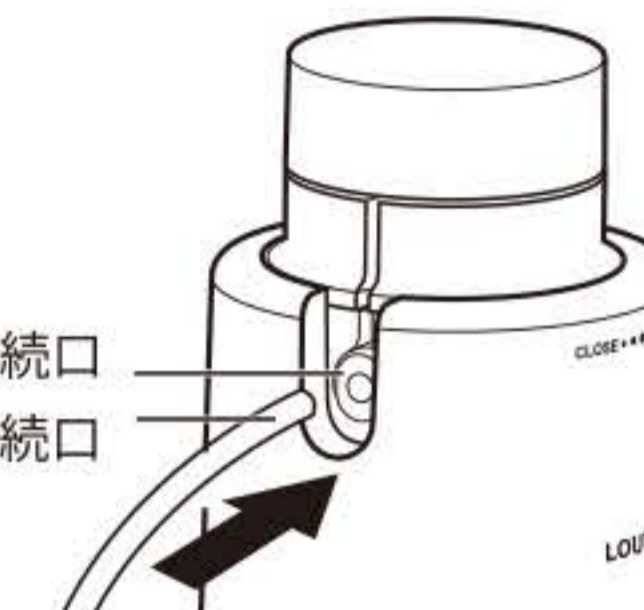
- 2 炭酸盤専用エアホースのレギュレーター接続口をレギュレーターのエアホース接続部に差し込んでください。

- 奥までしっかり差し込んでください。

エアホースを外したい場合は・・・
エアホース接続口の
黒い樹脂部分を押しながら
引き抜いてください。

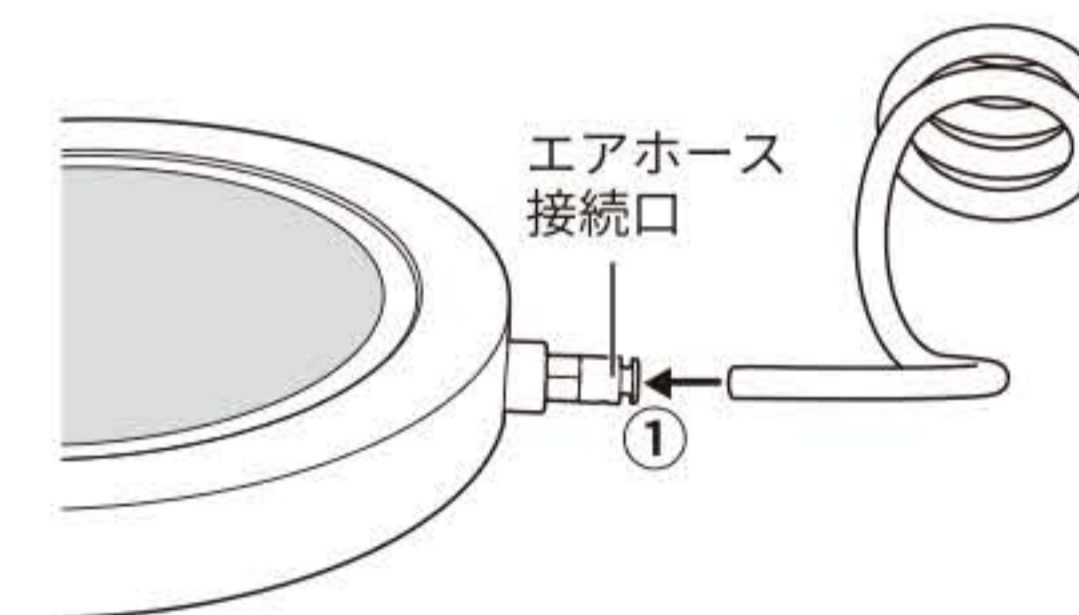
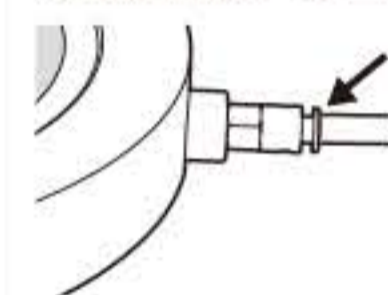


エアホース接続口
レギュレーター接続口



- 3 炭酸盤本体のエアホース接続部に、2で取り付けたエアホースの反対側の接続口を差し込みます。

炭酸盤からエアホースを外したい場合は・・・
図の矢印の部分を押しながら
エアホースを引っ張ると、エア
ホースが外れます。



- 4 浴槽や水の中に炭酸盤をゆっくりと入れてください。

- 初めてご使用になる場合は、水を溜めた桶に炭酸盤を入れて、1～2分程度炭酸ガスを出し、水を捨ててからご使用ください。
(衛生上、より安全にご使用いただくために行なってください。)

- 5 本体レギュレーターの開閉ハンドルを【OPEN】方向に回し、炭酸ガスの供給を開始すると炭酸盤から泡が出てきます。

- レギュレーターのご使用方法は、下記の取扱説明書ページを参照ください。

📖 本書 11 ページ：レギュレーターのご使用方法

ご使用方法〈炭酸盤〉

- 1 水やお湯を溜めた桶や浴槽に炭酸盤本体を沈めて炭酸風呂をお楽しみください。



警告

- ペットの顔がバスタブより上になるようにして使用してください。
*顔がバスタブより下にきてしまう場合、密閉空間と同じ環境になりますのでご注意ください。



注意

- 炭酸盤で足や手を引っかかないようにしてください。
*炭酸盤が破損したり、けがのおそれがあります。



- 2 本体レギュレーターでガスの供給量を調整し、お好みの泡の量でご使用ください。

- レギュレーターのご使用方法は、下記の取扱説明書ページを参照ください。

本書 11 ページ：レギュレーターのご使用方法

使い終わったら

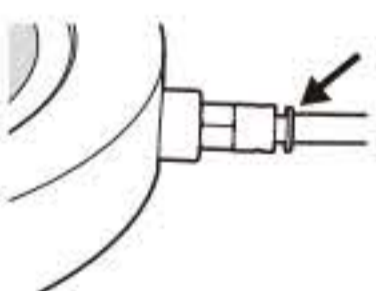


注意

- 長時間使用すると、ボンベが冷えて霜がついていることがありますので、濡れた手や素手でガスボンベやレギュレーターなど触らないでください。
*凍傷の危険があります。

- 1 本体レギュレーターの開閉ハンドルを【CLOSE】方向(時計回り)へ止まるまで回し、炭酸ガスの供給を停止し、炭酸盤側のエアホースを外します。

炭酸盤からエアホースを外す方法



図の矢印の部分を押しながらエアホースを引っ張ると、エアホースが外せます。



- 2 炭酸盤の水気をふき取り、炭酸盤を立てかけるか、タオルなどの吸水性のあるものの上に裏返しにして、水気や湿気がなく直射日光の当たらないところで保管をしてください。



注意

- 洗剤やアルコールの使用はお控えください。
*ケースの劣化につながるおそれがあります。
- 持ち方注意
炭酸盤を下にして持たない。
*ホース接続口の故障につながります。



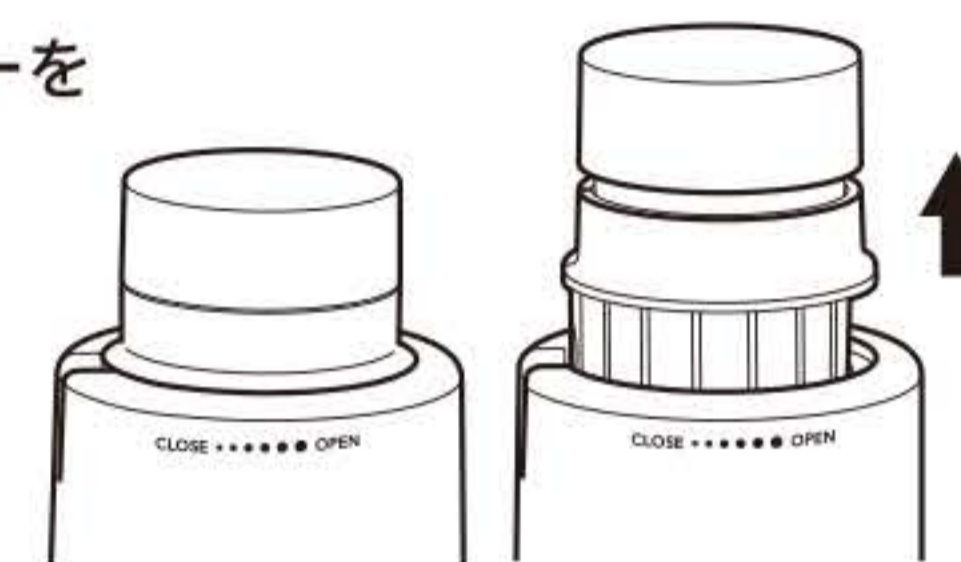
炭酸ガスカートリッジの交換方法

開閉ハンドルを「OPEN」方向(反時計回り)に止まるまで回した状態で、炭酸盤やエアブラシのエアボタンを押してもガスが出ない場合は、炭酸ガスカートリッジの炭酸ガスがなくなっていますので、炭酸ガスカートリッジの交換を行ってください。

- 1 開閉ハンドルを「CLOSE」方向(時計回り)に止まるまで回してください。



- 2 本体ケースをしっかりと持ち、レギュレーターカバーを上方向に引き上げ、レギュレーターカバーを炭酸ガスカートリッジごと引き抜いてください。

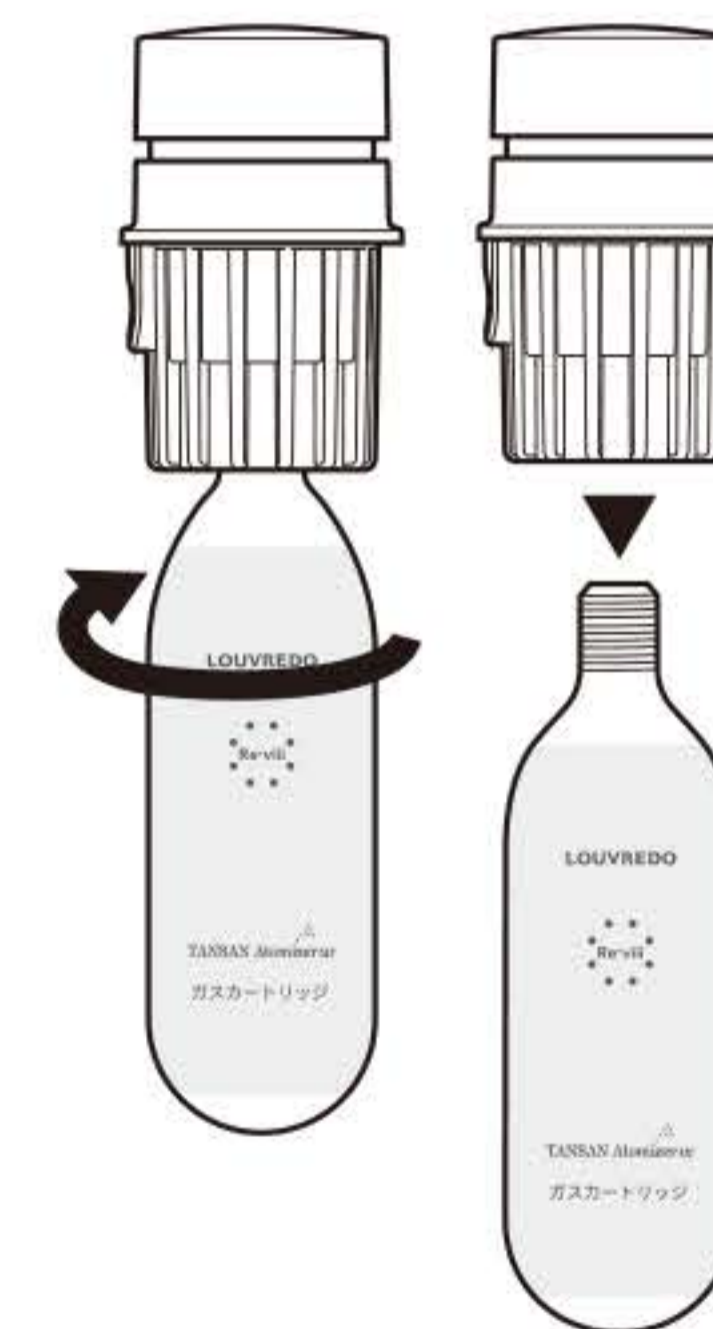
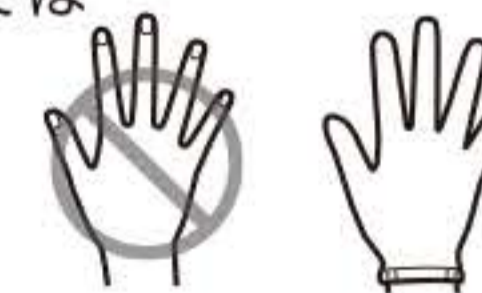


- 3 レギュレーターカバーをしっかりと持った状態で炭酸ガスカートリッジを右図の矢印の方向に回し取り外します。



注意

- 炭酸ガスカートリッジを取り外す途中で「シュー」という音がした場合は、音がなくなるのを待ってから取り外してください。
- 使用済みの炭酸ガスカートリッジは蓋(封板)に穴があいていることを確認のうえ、不燃物としてお住まいの地域の条例に従って処理してください。
- 使用後、炭酸ガスカートリッジは非常に低温となっています。炭酸ガスカートリッジを装着・取り外しの際は、軍手などを使用し、絶対素手では触らないでください。
- 濡れた手で炭酸ガスカートリッジの装着は絶対におやめください。



- 4 新しい炭酸ガスカートリッジを装着します。

- 装着方法は本書 9 ページをご参照ください。
- 炭酸ガスカートリッジの取り付け上のご注意については、本書 5 ページをご参照ください。

お手入れと保管

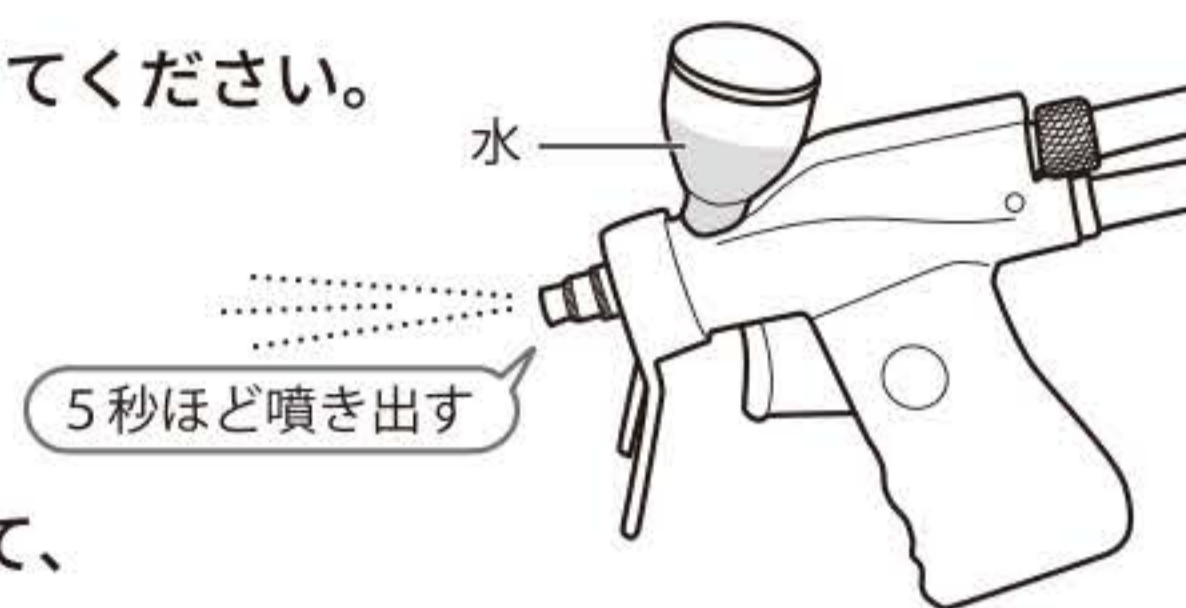
エアブラシとローションカップのお手入れ

使用後やローションを変える際など、お手入れを怠るとエアブラシ内で液剤が固まってしまい、ローションが出にくくなったり不具合の原因となります。定期的にお手入れすることを推奨します。

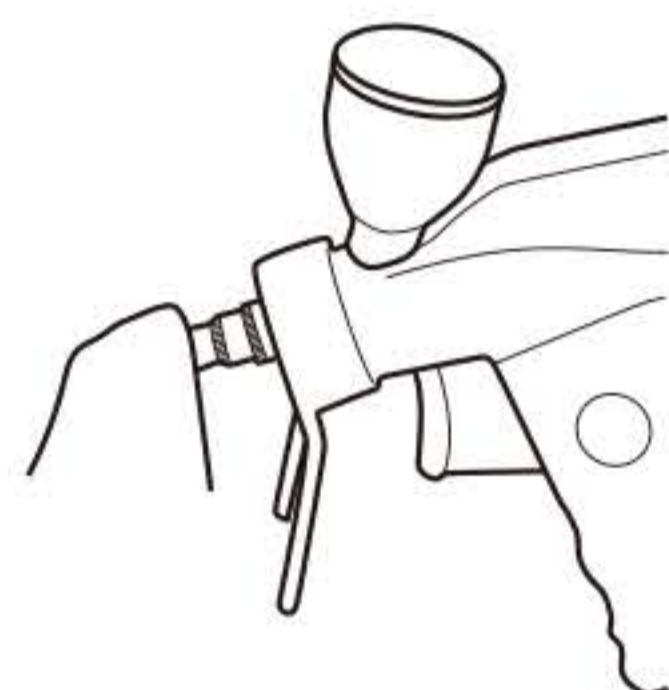
1 ローションカップ内に残った化粧水などを捨ててください。

2 エアブラシのミストが出なくなるまで空噴きしてください。

ローションカップに水を少量入れ、エアブラシにセットし、トリガーを手前に引いて、水のミストを5秒ほど噴き出してください。



3 ローションカップ内の残った水を捨てて、エアブラシを再度空噴きし、噴き出しノズルの先端と周りを、ティッシュなどで軽く拭いて、陰干しして乾かしてください。



4 定期的に水で薄めた中性洗剤を含ませた布などで清掃してください。

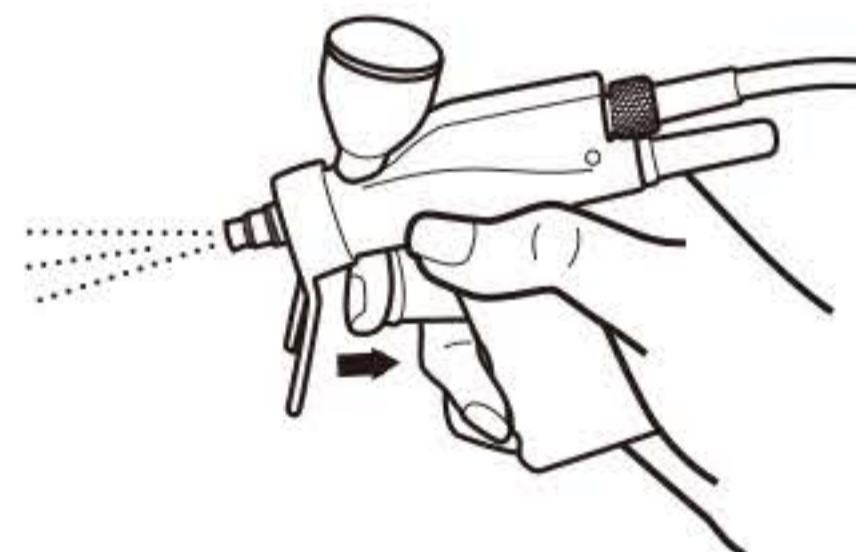
本体(炭酸アトマイザー)のお手入れ

1 エアブラシとローションカップのお手入れを行った後、開閉ハンドルを【CLOSE】方向(時計回り)に止まるまで回してください。

●【OPEN】状態のままにしますと、機器に負担がかかり、故障の原因となります。必ず【CLOSE】状態にしてください。



2 エアブラシのトリガーを引いて、エアブラシやエアホース内に残った残留ガスを抜いてください。



炭酸盤のお手入れ

炭酸盤の水気をふき取り、炭酸盤を立てかけるか、タオルなどの吸水性のあるものの上に裏返しにして、水気や湿気がなく直射日光の当たらないところで保管をしてください。



注意

- 洗剤やアルコールの使用はお控えください。
* ケースの劣化につながるおそれがあります。
- 持ち方注意
炭酸盤を下にして持たない。
* ホース接続口の故障につながります。



保管・収納について

保管・収納場所について

- 安定した場所で倒れないことを確認してから保管・収納してください。
- お子様の手の届かない場所に保管・収納してください。
- 蛍光灯のそばや、電気カーペットの上など温度が高くなる場所、直射日光の当たる場所、ホコリの多い場所、化学薬品などにより腐食しやすい場所では保管・収納しないでください。

長期間保管する場合

本製品を長期間保管する場合は、炭酸ガスを使い切った後、炭酸ガスカートリッジを取外した状態で保管してください。